

**welco**

株式会社 ウイルコホールディングス

私たちはお客様に、  
安心品質をお届けします。

**第44期 事業報告書**  
(2021年11月1日～2022年10月31日)

目次

---

第44回定時株主総会決議ご通知	1
株主の皆様へ	2
SDGsに向けた当社の取り組み	3-5
主要な連結指標等の推移	6
連結財務諸表	7-8
個別財務諸表	9
会社概要/株式情報	10

株 主 各 位

2023年1月26日

石川県白山市福留町370番地  
株式会社ウイルコホールディングス  
代表取締役社長 若林 圭太郎

## 第44回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第44回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

### 報告事項

1. 第44期（自 2021年11月1日 至 2022年10月31日）  
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第44期（自 2021年11月1日 至 2022年10月31日）  
計算書類報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金については1株あたり2円とすることに決定いたしました。

#### 第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

#### 第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名が選任され、それぞれ就任いたしました。

#### 第4号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役3名が選任され、それぞれ就任いたしました。

#### 第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

以上

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第44期（2021年11月1日～2022年10月31日）が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

## 1. 当期の業績の概況

当連結会計年度（2021年11月1日～2022年10月31日）における我が国経済は、2022年7-9月期のGDP成長率が、前期比で実質△0.2%（年率換算△0.8%）と2四半期ぶりのマイナス成長となりました。国内においては、新型コロナウイルスの水準対策が緩和され、ウィズコロナの新たな段階に移行してはいるものの、第8波到来への懸念が高まりつつあります。また、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギーや穀物価格の高騰及び円安の進行による物価上昇等により、景気の先行きが懸念される状況となっております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、デジタル印刷は、ECサイト経由の受注が増加していることもあり堅調に推移しました。一方、チラシやフリーペーパーの印刷は、人流抑制策の緩和によって各種イベントや観光需要は回復傾向となったものの、広告宣伝媒体のネット移行が進んだ影響により受注が減少したため、セグメント売上高は8,269百万円（前年同期比11.2%減）となりました。利益面においては、販売価格の見直しや人件費を含む経費削減及び多能工化による生産効率の向上を図りましたが、用紙代等の上昇、電気料金の高騰等によるコスト増を完全にカバーするには至らず、セグメント利益は404百万円（前年同期比39.6%減）となりました。今後は、ECサイトの充実及び拡大にさらに取り組み、デジタル印刷の受注拡大を図るとともに、オフセット印刷とデジタル印刷の最適な組み合わせにより顧客における印刷物の廃棄コストの最小化を図った実績の紹介を展開し、顧客におけるSDGs活動を積極的にサポートしていきます。また、顧客の販促活動を紙媒体のみならずHP作成支援等を総合的にサポートできる営業体制の構築を図るとともに、製造コストの削減を進め、収益拡大を目指してまいります。

知育事業につきましては、新型コロナウイルス感染防止関連商品の需要が一巡したことにより同商品の売上高は減少しましたが、新たに投入した商品が動き始めたこと及び出版事業において刊行した書籍が課題図書に選定されたこと等が売上高及び利益に寄与しました。コスト面では売上原価の低減に努め利益率の向上を図り、更に広告宣伝費、物流費及び人件費等の見直しにより、販売費及び一般管理費を削減した結果、セグメント売上高は976百万円（前年同期比23.8%減）、セグメント利益は6百万円（前年同期は29百万円の損失）となりました。

なお、当連結会計年度より「メディア事業」のセグメント区分を廃止しております。これは、前連結会計年度において、当社の連結子会社であった株式会社関西ほぐ及び株式会社アクティの全株式を譲渡し、同事業から撤退したことによるものです。これにより、当連結会計年度より「情報・印刷事業」と「知育事業」の2つのセグメント区分となっております。（前連結会計年度の「メディア事業」のセグメント売上高は334百万円、セグメント利益は10百万円の損失でした。）

また、7月1日付で笹岡薬品通販株式会社の株式を取得し連結子会社化したことに伴い、当連結会計年度より報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しておりますが、連結業績への貢献はこれからとなります。当該株式取得に伴いのれんが11百万円発生致しましたが、当連結会計年度において一括償却したため、翌期以降のセグメント損益への負担はありません。その他セグメントの売上高は9百万円、セグメント利益は24百万円の損失となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は9,033百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は62百万円（前年同期比80.1%減）となり、持分法による投資利益及びものづくり補助金により、経常利益は132百万円（前年同期比57.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は113百万円（前年同期比57.4%減）となりました。

## 2. 当期・次期の配当について

当社は、事業拡大や経営体質の強化のために必要な資金を内部留保しつつ、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。当期の配当につきましては、1株あたり2円としております。

なお、次期の配当につきましては、経営環境、業績見通し等を勘案し、引き続き、1株あたり2円を予定しております。

当社では収益の改善に努め、継続的に利益を確保できる企業体質を目指してまいりますので、株主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 3. 今後の見通しについて

主力の情報・印刷事業におきましては、ECサイト経由のデジタル印刷の受注強化及び新商品開発を進めるとともに、オフセット印刷とデジタル印刷の最適な組み合わせによる顧客における印刷物の廃棄ロスの最小化を図った実績の紹介を積極的に進め、顧客のコストダウンとSDGs活動に貢献してまいります。また、顧客の販促活動を紙媒体のみならずHP作成支援等を総合的にサポートする営業活動を通じ、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕を進めるとともに、パートナー企業とのコラボレーションを積極的に推進していきます。更に販売価格の見直しや製造コストの削減を一層進めてまいります。知育事業におきましては、新商品開発や新規顧客獲得に注力するとともに、ダイレクトメール（DM）やECサイトを充実させ、新たな販売ルートの拡大に積極的に取り組み、売上高及び利益の拡大を図ります。その他事業におきましては、取扱い商品や販売チャネルの拡充を図り新規顧客の獲得及び定期顧客継続率の向上を図りつつ、受注コストの低減策を講じてまいります。

更には、紙媒体による告知効果、形態別ダイレクトメール（DM）のレスポンス、DMとコールセンター併用の費用対効果等を自ら検証し、それらの情報をお取引先様へ還元することにより、従来以上にレスポンスの高い印刷物を提案、グループシナジーを最大限に発揮し、告知からアフターフォローまでのサービスを顧客に提供できるオールインワンマーケティングカンパニーを目指してまいります。

以上により、次期（2023年10月期）の連結業績は、売上高10,000百万円、営業利益100百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月

株式会社 **ウイルコホールディングス**  
代表取締役社長 **若林 圭太郎**

## ▶SDGsに向けた当社の取り組み

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

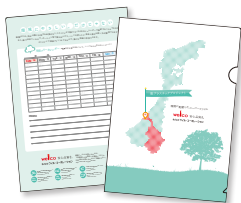
私たち、ウイルコグループは持続可能な開発目標(SDGs)達成を支援しています。

当社のロゴ「wellco」には、エコ(wellco)の文字が入っています。このecoには「環境に配慮した製品・サービスを提供する」という強い理念が込められています。

2015年に「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連で宣言されたこともあり、「脱プラスチック」や「CO2排出量削減」などにより生態系を守りサステナブルな環境を維持することが、より強く求められています。当社は、紙製のクリアファイル、OPPフィルムを使わないダイレクトメール、使用時にごみとなる剥離紙のないラベル等の製品を新たに提供することにより、お客様におけるSDGs活動のお役に立ちたいと考えております。

また、自らの工場設備、職場環境、使用資材を見直すことにより、省資源と排出CO2削減を目指して参ります。

### ●「環境に配慮した製品」の開発



プラスチックはマイクロプラスチックになり海を汚染します。シースルーの紙製のプラゼロファイルを開発しました。

### ●廃棄印刷物を減らすデジタル印刷



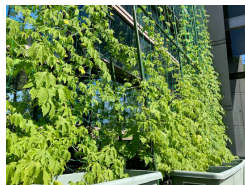
小ロット、短納期に対応できる最新鋭のデジタル印刷機を導入致しました。見込(過剰)発注による廃棄印刷物の量を大幅に抑制することができます。

### ●「環境に配慮した用紙」の使用



持続可能な森林活用・保全が行われている森林の材木から生産された「FSC® 認証用紙」、再生紙など、お客様の要望に応じた用紙を使用しています。

### ●「地球温暖化対策」への取り組み



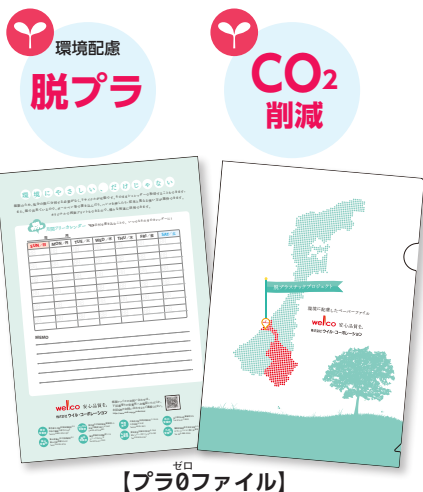
夏場には、節電を図るため、社員からの提案により、全国4拠点で、グリーンカーテンを設けています。

## ▶「環境に配慮した製品」の開発

当社は、お客様のSDGs活動に貢献できる製品の開発を、継続的に行っております。



### ●「脱プラスチック」に貢献する紙製ファイル



ゼロ  
【プラ0ファイル】

世界で毎年約800万トン(ジャンボジェット5万機分に相当)にも及ぶプラスチックごみが海に流失しており、生態系に悪影響を与えています。次の世代にも、住みよい地球を残していくために、当社は、プラスチックの代替品となる紙製品の開発に取り組んでいます。

最新の製品は、半透明でクリアファイルのように使える紙製ファイル「プラゼロファイル<sup>(※1)</sup>」です。「脱プラスチック」に貢献するのはもちろん、CO2排出量の削減<sup>(※2)</sup>も実現します。社内では既存のクリアファイルを全てこの「プラゼロファイル」に切り替えていきます。

今後も「脱プラスチック」に貢献できる製品を開発していきます。

※1:特許出願中

※2:原料製造から廃棄までの過程におけるOPP製クリアファイルとの比較

### ●「台紙ごみのムダ削減」に貢献するラベル



【ごみゼロラベル<sup>®</sup>】

当社のラベル製品「ごみゼロラベル<sup>®</sup>」は、剥離紙付きの従来型ラベル対比で台紙ごみ削減、CO2削減を実現しております。2004年には「ヨコハマはG30」への貢献により横浜市から表彰されました。現在では、全国80以上の市区町村で使用されています。

機能性と使いやすさが評価されグッドデザイン賞2018受賞などの実績があります。



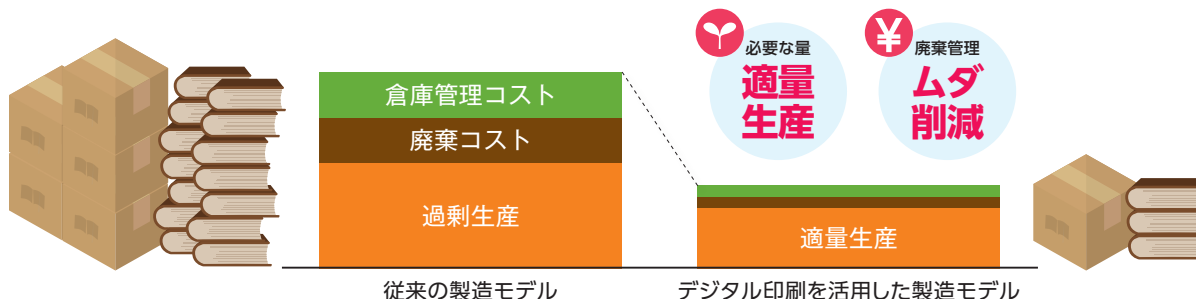
## ▶ 廃棄印刷物を減らすデジタル印刷

現在の社会では、無駄なものを作らず、温室効果ガスの排出を抑制し、資源を最大限に有効活用し、経済活動を進めていくことが重要です。  
当社では2017年に最先端のデジタル印刷設備を導入。お客様が必要な分だけ、必要なタイミングで適量生産し提供する体制を構築しています。



### ●「デジタル印刷」によるサステナブルな印刷物供給

デジタル印刷導入により、お客様に必要な分を適時・適量生産することにより、在庫費用や廃棄コストを削減。印刷物の廃棄量を製造量の1%以下にすることを目標として、取り組みを行っております。



### ●「グリーン・グラフィック・プロジェクト」への参画



2021年 温室効果ガスオフセット量 433,244kg - CO<sub>2</sub>

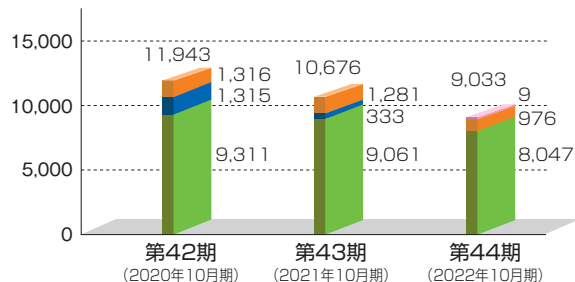
グリーン・グラフィック・プロジェクト (Green Graphic Project、GGP) とは富士フイルム株式会社が展開する地球温暖化対策の一環として「カーボン・オフセット制度」を利用し、お客様と共にCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組む活動です。

当社はこのプロジェクトの趣旨に賛同し2019年より参画。「SUPERIA 完全無処理サーマルCTPプレート」を導入し、印刷物の製作工程で発生するCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。開発途上国のCO<sub>2</sub>削減や雇用創出などの支援活動への間接的な貢献にも繋がっています。

## // 主要な連結指標等の推移

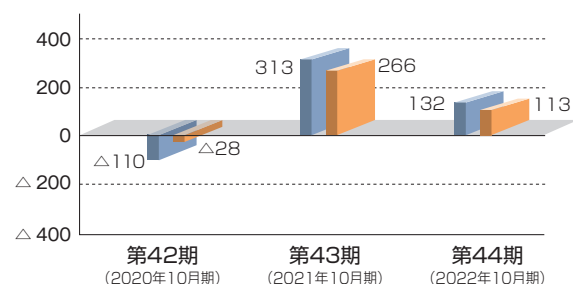
### 売上高

(単位:百万円) ■ 情報・印刷事業 ■ メディア事業 ■ 知育事業 ■ その他



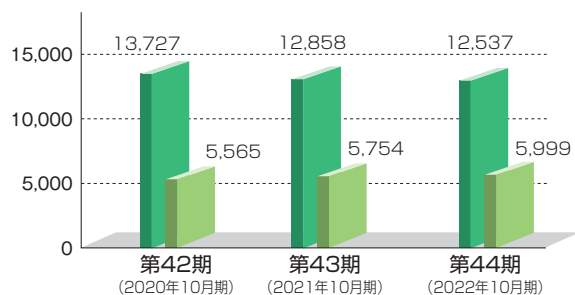
### 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円) ■ 経常利益 (△は経常損失) ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (△は親会社株主に帰属する当期純損失)



### 総資産額／純資産額

(単位:百万円) ■ 総資産額 ■ 純資産額



### 自己資本比率

(単位:%) ◆ 自己資本比率



### (ご参考)

	当連結会計年度	前連結会計年度	前年同期比	増減率
	(単位:百万円)			
情報・印刷事業	8,047	9,061	△ 1,014	△ 11.2%
メディア事業	-	333	△ 333	-
知育事業	976	1,281	△ 305	△ 23.8%
その他	9	-	9	-
売上高	9,033	10,676	△ 1,643	△ 15.4%
情報・印刷事業	404	668	△ 264	△ 39.6%
メディア事業	-	△ 10	10	-
知育事業	6	△ 29	35	-
その他	△ 24	-	△ 24	-
セグメント利益	386	629	△ 243	△ 38.6%
全社費用	△ 324	△ 317	△ 7	-
営業利益	62	312	△ 249	△ 80.1%

# // 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	2022年10月31日現在	2021年10月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,820	7,044
現金及び預金	4,522	4,165
受取手形及び売掛金	1,428	2,005
商品及び製品	445	440
仕掛品	95	96
原材料及び貯蔵品	209	189
その他	119	148
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	5,716	5,813
有形固定資産	4,148	4,515
建物及び構築物	924	983
機械装置及び運搬具	337	384
土地	2,101	2,118
リース資産	742	1,009
建設仮勘定	26	-
その他	16	19
無形固定資産	77	86
ソフトウェア	-	23
その他	77	63
投資その他の資産	1,490	1,211
投資有価証券	1,172	897
その他	333	326
貸倒引当金	△ 16	△ 12
資産合計	12,537	12,858

科 目	当連結会計年度末	前連結会計年度末
	2022年10月31日現在	2021年10月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,554	4,056
支払手形及び買掛金	521	941
電子記録債務	1,428	1,466
1年内返済予定の長期借入金	685	718
リース債務	271	251
未払金	402	458
未払法人税等	28	16
賞与引当金	27	27
その他	189	176
固定負債	2,983	3,047
長期借入金	1,613	1,350
リース債務	533	852
退職給付に係る負債	367	425
繰延税金負債	404	351
資産除去債務	12	12
その他	51	54
負債合計	6,538	7,104
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,568	5,557
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,149	2,138
自己株式	△ 7	△ 7
その他の包括利益累計額	430	196
その他有価証券評価差額金	385	185
退職給付に係る調整累計額	45	10
純資産合計	5,999	5,754
負債及び純資産合計	12,537	12,858



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2021年11月1日から 2022年10月31日まで	2020年11月1日から 2021年10月31日まで
売上高	9,033	10,676
売上原価	7,278	8,530
売上総利益	1,754	2,146
販売費及び一般管理費	1,691	1,834
営業利益	62	312
営業外収益	128	79
営業外費用	58	78
経常利益	132	313
特別利益	18	76
特別損失	9	108
税金等調整前当期純利益	141	281
法人税等	27	14
当期純利益	113	266
親会社株主に帰属する当期純利益	113	266

## 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2021年11月1日から 2022年10月31日まで	2020年11月1日から 2021年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	513	814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 124	△ 98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	△ 626
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	357	89
現金及び現金同等物の期首残高	3,647	3,557
現金及び現金同等物の期末残高	4,005	3,647

## 連結株主資本等変動計算書 (2021年11月1日から2022年10月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
2021年11月1日残高	1,667	1,758	2,138	△ 7	5,557	185	10	196	5,754
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	△ 53	-	△ 53	-	-	-	△ 53
会計方針の変更を反映させた当期首残高	1,667	1,758	2,084	△ 7	5,503	185	10	196	5,700
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当	-	-	△ 49	-	△ 49	-	-	-	△ 49
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	113	-	113	-	-	-	113
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	-	-	-	-	-	200	34	234	234
連結会計年度中の変動額合計	-	-	64	-	64	200	34	234	298
2022年10月31日残高	1,667	1,758	2,149	△ 7	5,568	385	45	430	5,999

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度末 2022年10月31日現在	前事業年度末 2021年10月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,202	1,093
固定資産	8,044	7,834
有形固定資産	2,948	3,015
無形固定資産	1	0
投資その他の資産	5,093	4,818
資産合計	9,246	8,928
<b>負債の部</b>		
流動負債	975	1,013
固定負債	2,400	2,266
負債合計	3,376	3,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,484	5,462
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,765	1,765
利益剰余金	2,058	2,036
自己株式	△ 7	△ 7
評価・換算差額等	385	185
その他有価証券 評価差額金	385	185
純資産合計	5,870	5,648
負債及び純資産合計	9,246	8,928

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2021年11月1日から 2022年10月31日まで	前事業年度 2020年11月1日から 2021年10月31日まで
売上高	577	582
売上原価	89	91
売上総利益	487	490
販売費及び一般管理費	324	320
営業利益	163	169
営業外収益	40	175
営業外費用	60	29
経常利益	142	315
特別利益	-	3
特別損失	3	115
税引前当期純利益	139	203
法人税等	68	△ 23
当期純利益	71	226

## 株主資本等変動計算書 (2021年11月1日から2022年10月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等 合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金								利益剰余金 合計
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
2021年11月1日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	360	2,036	△ 7	5,462	185	185	5,648
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	△ 49	△ 49	-	△ 49	-	-	△ 49
税率変更に伴う固定資産 圧縮積立金の減少	-	-	-	-	△ 1	-	1	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	-	-	71	71	-	71	-	-	71
株主資本以外の項目の当 期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	200	200
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△ 1	-	23	21	-	21	200	200	222
2022年10月31日残高	1,667	1,765	1,765	53	620	1,000	384	2,058	△ 7	5,484	385	385	5,870

# // 会社概要 / 株式情報

## ■会社概要 (2023年1月26日現在)

### ■会社の概況

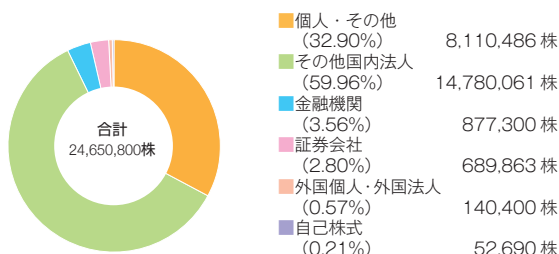
商号 株式会社ウイルコホールディングス  
Wellco Holdings Corporation  
設立 1979年5月  
代表者 代表取締役社長 若林 圭太郎  
資本金 16億6,762万円  
本社所在地 石川県白山市福留町370番地  
事業所 本社  
東京事務所  
重要な子会社 株式会社ウイル・コーポレーション  
鈴木出版株式会社

## ■株式情報 (2022年10月31日現在)

### ■株式の状況

発行可能株式総数 76,600,000株  
発行済株式総数 24,650,800株  
株主総数 3,110名

### ■株式分布状況 (所有者別)



### ■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社わかさ屋	9,830,000	39.96%
若林 裕紀子	1,220,000	4.95%
株式会社日本創発グループ	1,200,000	4.87%
ウイルコ役員持株会	1,099,600	4.47%
株式会社桂紙業	1,000,000	4.06%
大日精化工業株式会社	960,000	3.90%
株式会社北國銀行	720,000	2.92%
大和輸送株式会社	504,000	2.04%
株式会社タナックス	388,000	1.57%
若林 和芳	300,160	1.22%

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
■ 定時株主総会	1月中
■ 基準日	10月31日
■ 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 および電話照会先	大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号（〒541-8502） 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777（土、日、祝日を除く平日9:00～17:00）
■ 公告の方法	電子公告により当社ホームページ（ <a href="https://www.wellco-corp.com/">https://www.wellco-corp.com/</a> ）に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

## ■ 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

